

1. 保育者への道のり

明德での2年間の生活をどのように過ごすかは、みなさんの将来に大きくかかわります。一人ひとりが目的に向かって自らを律し、学びを創りあげていくのです。日々の生活・授業は、4月の教科ガイダンスを受講し、各自が「履修要項」に基づいて諸手続きをしていくことによって組み立てていきます。

1. 学びのステージ

本学では4月から9月までを「前期」、10月から3月までを「後期」とし、1年を2期に分けて構成しています。従って、2年間で4期にわたって学習を進めていきます。保育創造学科の教育理念に基づいて「体験から学ぶ」をテーマに据えつつ、学びを重層的に積み重ねていく教育課程を編成しています。授業科目には、期毎に開講される「半期科目」（前期に開講される科目を「前期科目」、後期に開講される科目を「後期科目」といいます）と前期・後期を通して開講される「通年科目」があり（その他に一部、特定の期間に開講される「集中科目」があります）、それぞれに学習が評価され、単位が認定されます。それらは主要な学びのステージにおける皆さんの体験やそこからの学びと関連づけられ、確かな知識と実践力に結びつくよう配置されています。

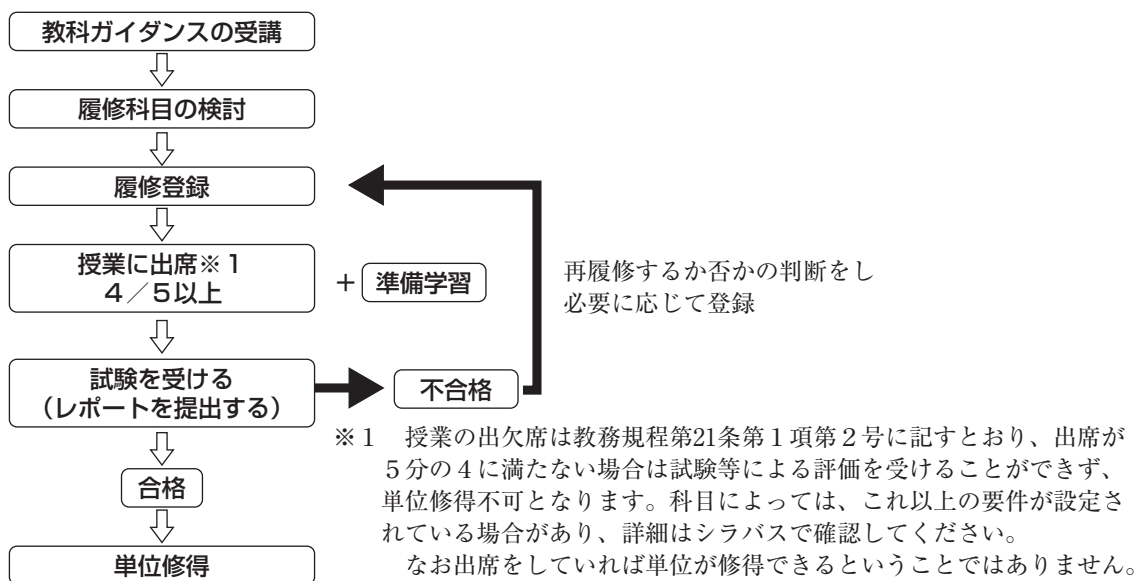
2. 短期大学士の「学位」授与

2年間の学びを修め卒業するためには、以下に示す流れの中で、必要な科目を履修し、単位を修得することが求められます。そして、必要な単位を修得すると卒業と同時に「短期大学士（保育）」の学位が授与されます。

「学位」とは、①学術の中心にある大学が与えるもので、②一定水準の教育を受け、知識・能力を持つと認められる者に与えられるものであり、③授与された学位は国際的にも通用するものです。

学位が授与されることに誇りをもち、各自の責任において、よりよい学びが展開されるよう、卒業に向けて「単位を修得する」という意識を強く持ち2年間の生活を組み立て、努力を重ねることが大切です。

■単位修得までの流れ



■短期大学での学修の考え方

学則第22条に規定するとおり、短期大学では「1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容」で構成することになっていますが、本学での授業時間数は、いずれも1単位45時間という基準以下（学則第21条別表参照）になっています。それは、本学での学修が、予習・復習や課題学習といった自主的な学習の時間を必須のものとして含んでいるからです。（準備学習については各授業のシラバスに明記されています。）本学での学修でより重要なことは、シラバスなどを手がかりに、自らの疑問や関心に従って、進んで学んでいく姿勢を持つことです。

2. 幼稚園教諭免許状・保育士資格の取得にあたって

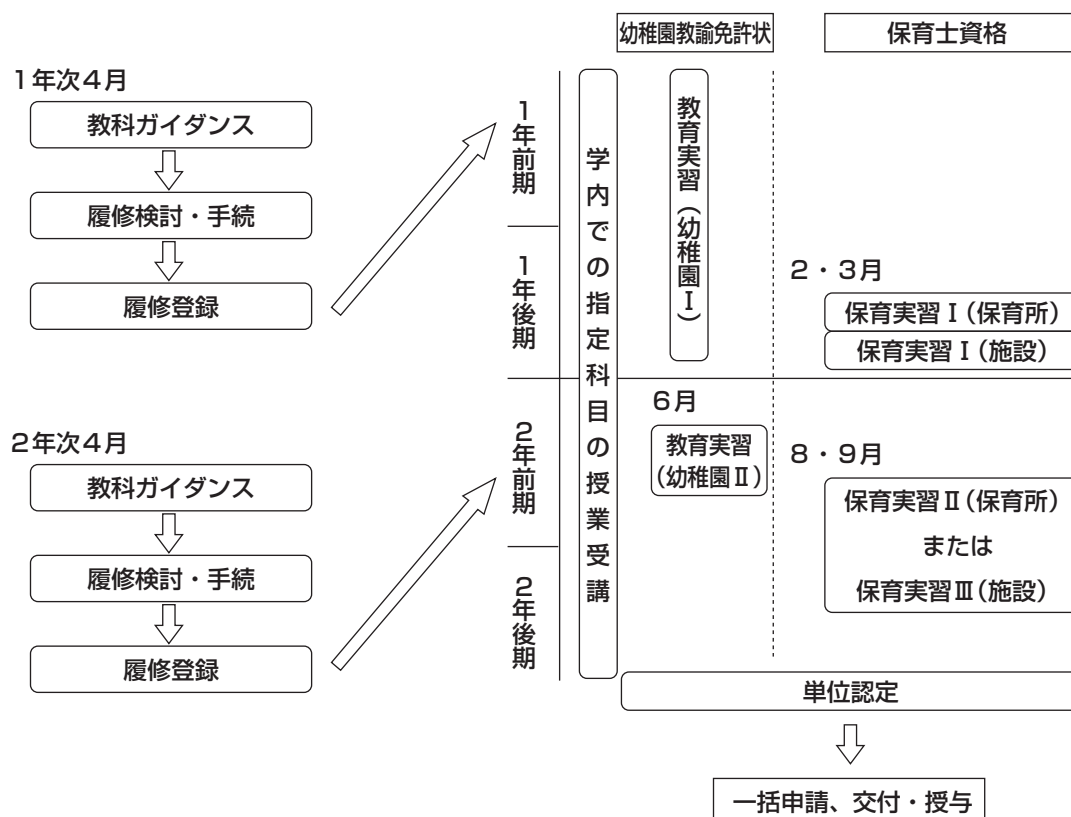
幼稚園教諭免許状・保育士資格を取得するには、卒業に必要な単位を修得するだけでなく、教育課程表に示された免許状・資格の取得に必要なすべての科目を履修し、単位を修得する必要があります。そして、必要な単位が修得できた場合には、学生本人の申出に基づき、学校から免許状・資格の一括申請を行います（※1）。その結果、申請が承認された者には、「幼稚園教諭二種免許状」が卒業式において授与され、また、国家資格である「保育士資格」については、後日（卒業年の6月頃）、「保育士証」が都道府県から郵送されることとなります（※2）。

免許状・資格は、在籍していれば自動的に付与されるものではなく、一人ひとりの学生の責任に基づく履修登録、科目の履修、単位の修得そして申請という主体的な行動によって、その取得が可能になります。また、学修不足や教諭・保育士としての適性に疑義を生じる状況がある場合には、履修が認められない場合がありますので注意してください。

※1 申請にあたっての手続き料は各自の自己負担になります。

※2 3月31日付けで保育士として都道府県に登録され、「保育士登録済通知書」が郵送されてきます。「保育士証」が発行されるまでは、これをもって保育士登録がなされたことを証明します。

■幼稚園教諭免許状・保育士資格の取得までの流れ



3. 履修要項

(1) はじめに

本学での学修は自らの責任において単位を修得し、目標を達成することが大切です。そのためにも履修に関するルールを十分に理解してください。

①卒業及び免許状・資格取得

本学に2年以上在学し、学則所定の科目及び単位（学則第21条別表に示す卒業必修科目の単位12単位を含む62単位以上）を修得した者には、学則第30条第1項の規定により卒業が認められ、卒業者には同条第2項の規定により、「短期大学士（保育）」の学位が授与されます。さらには、学則第25条第2項及び第3項に定める所定の科目及び単位を修得した者は、幼稚園教諭二種免許状、保育士資格（※1）が取得できます。本学学生は、学則第1条の趣旨に鑑み、1年次から幼稚園教諭二種免許状及び保育士資格の取得に必要な科目を計画的に履修し、その取得を目指すものとします。

また、所定（※2）の科目及び単位を修得した者は社会福祉主事任用資格が取得できます。

※1 詳細は前項「幼稚園教諭免許状・保育士資格の取得にあたって」に記載

※2 「教育原論」「保育原論」「社会福祉」「児童家庭福祉」「相談援助」のうち3科目

②開講期間

本学の授業科目の開講期間は、4月1日から9月30日までの「前期」、10月1日から3月31日までの「後期」、これらを通じた期間の「通年」、及び特定の期間に集中して授業を実施する「集中」に分類されます。

③授業期間及び授業時間

本学の授業期間は、学則第6条に定める休業日を除く月曜日から金曜日の期間です。休業日であっても、実習や集中授業、特別授業、補講が行われる場合があるので、学事日程や掲示を確認して下さい。

また本学の授業時間は、1時限目から5時限目で、各時限の開講時間は次の通りです。

1時限目	9：20～10：50	4時限目	15：10～16：40
2時限目	11：00～12：30	5時限目	16：50～18：20
3時限目	13：30～15：00		

④授業科目の区分

本学の授業科目は、その授業形態によって次の3種類に分類されます。

区 分	形 態
講 義	教員の話を中心にして学修を進める授業
演 習	学生の主体的な活動を教員が援助しながら学修を進める授業
実習・実技	学生の実体験を中心にして学修を進める授業

⑤授業科目の区分と単位数

学則第22条で、45時間の学修を必要とする内容をもって1単位とすることとされており、これに各授業科目の単位数を乗じるとその科目の必要な学修の時間数となります。この時間数は、学校での授業の時間数と学生が課外で行う準備学習の時間数との合計であり、1単位当たりの授業時間数は、以下を基準として、学則第21条別表に定められています。

講義・演習 15時間以上

実習・実技 30時間以上

また、授業時間の計算においては、1コマ90分の授業は2時間と見なすこととされています。

⑥出席要件

どの科目においても授業は全回出席するのが原則です。やむを得ない事情等で欠席する場合であっても、その出席が5分の4に満たない者は、教務規程第21条第1項2号により、試験等の評価を受けることができません。従って、単位修得のためには、全授業回数の5分の4以上の出席が絶対条件となります。科目によっては、より厳しい条件が設定されている場合があります。詳細はシラバスで確認してください。

また、遅刻・早退(※)は3回で欠席1回に換算されますから注意をしてください。

※遅刻・早退は30分以内に限られ、それ以上の場合には、原則として欠席になります。また、授業の一部が欠けると実質的に授業に参加できなくなる場合など、授業によっては一切遅刻・早退が認められない場合もあります。各授業での説明に注意をしてください。

(2) 履修方法

<1年生>

1年生の履修可能な科目は教育課程表(17~18ページ)の開講年次欄に1年と示された科目です。卒業必修科目、幼稚園教諭免許状必修科目、保育士資格必修科目、保育士資格選択科目などの区分に十分留意して、教科ガイダンス時に配布する履修登録用紙をもって履修登録してください。(詳しくは(4)を参照)

科目によっては、グループ毎にまたは学籍番号により、あらかじめ時間割が指定してあります。それらの科目については、原則として時間割表に指定された科目及び講義時間で履修してください。

また、「オーラル・コミュニケーションⅠ」は英語と中国語の選択科目です。「音楽表現演習Ⅰ」「音楽表現演習Ⅱ」はピアノとギターのコースがあります。それぞれの科目の説明にしたがい、選択の上、履修してください。

※1年次開講の科目を1年次に単位修得できなかった場合、時間割編成上、2年次にはその科目を履修できない場合もあります。1年次に単位を修得するよう心掛けてください。

< 2 年生 >

2 年生の履修可能な科目は教育課程表に示された全ての科目です。ただし、1 年次で単位修得した科目の再履修は出来ません。卒業必修科目、幼稚園教諭免許状必修科目、保育士資格必修科目、保育士資格選択科目などの区分に十分留意して、ガイダンス時に配布する履修登録用紙をもって履修登録してください。(選択にあたっての考え方については、(4)を参照)

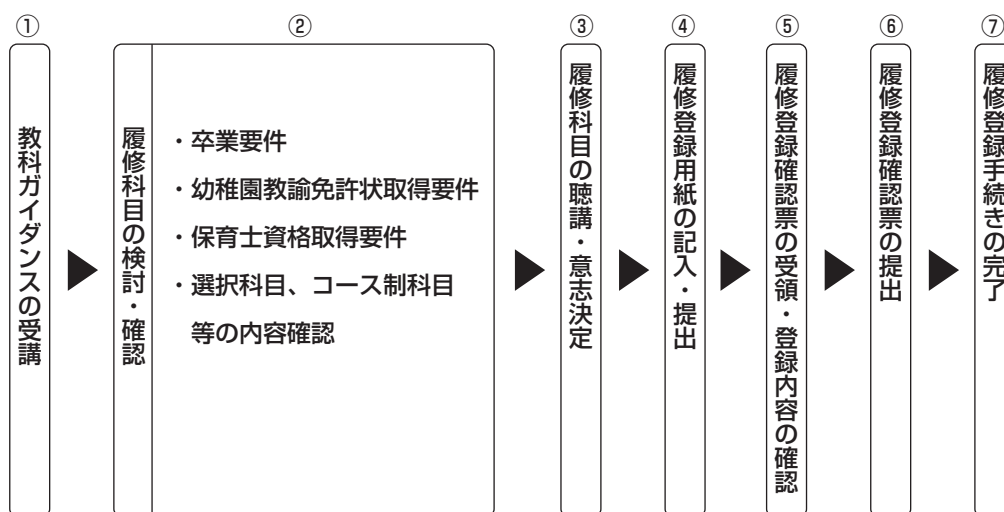
科目によっては、グループ毎にまたは学籍番号により、あらかじめ時間割が指定してあります。それらの科目については、原則として時間割表に指定された科目及び講義時間で履修してください。

また、2 年次では、いくつかの選択科目、およびコース制の科目を用意しています。それぞれの科目の説明にしたがい、シラバスを熟読の上、各自の関心、目的意識に応じて選択し、履修してください。シラバスに示される科目ごとの定員は一応の目安です。科目により若干の変動の可能性がありますので、ガイダンスでの説明に注意してください。

(3) 履修登録

1) 登録の流れ

履修登録の大まかな流れは、下の図のとおりとなります。



①教科ガイダンスの受講

履修手続や選択科目を中心とした科目の説明を行います。不明な点は質問してください。ガイダンスに欠席した場合、希望の授業が履修できなくなる場合があります。

②履修科目の検討・確認

「教育課程表」、「時間割表」を参考にして、どのような科目の履修が可能か、必要かを確認してください。その上で、「シラバス」やガイダンスでの説明内容を参考に、科目

の内容や履修上の注意事項を確認し、各自の興味、関心や進路に従って履修科目を検討してください。履修科目の選択は、卒業や免許状・資格の取得に関わりますから、慎重に検討、確認を進めてください。

③履修科目の聴講・意思決定

履修したい科目の授業に出席し聴講します(教室は、「時間割表」に示されています)。選択科目及びコース選択制の科目のうちガイダンス時に受講希望の調整・決定を行ったものについては、その決定内容に従って授業に出席してください。授業初回には、「シラバス」に記載されていない授業運営上の留意点の説明がある場合もあります。よく聞いて、不明な点は質問してください。その上で、科目履修の意思決定をします。

なお、履修登録用紙の提出以前の授業も出欠席管理の対象になります。また、実際に出席していても履修登録用紙で登録をしなければ、履修は認められません。

④履修登録用紙の記入・提出

受講の意志を固めた科目を記入して、履修登録用紙を履修登録期間内に事務室の所定の場所に提出してください。履修登録期間を過ぎると、履修登録ができず本年度の単位の修得もできなくなります。必ず、履修期間内に提出してください。

履修登録用紙の記載に誤りあるいは不明な点がある場合には、再確認・再提出となる場合があります。掲示等により呼び出しますので、指示に従って迅速に対応してください。

⑤履修登録確認票の受領・登録内容の確認

受け付けた履修登録の内容を記載した履修登録確認票を配付しますので、必ず受領の上、内容の確認してください。

- ・履修登録確認票配布日 1年生 4月18日(火)
- 2年生 5月2日(火)

⑥履修登録確認票の提出

受領した履修登録確認票の内容に修正がなければ、確認印を押して事務室に提出してください。修正がある場合には朱書きで修正し、押印をせずに事務室に提出してください。修正した履修登録確認票を交付します。なお、提出は所定の期間内に完了するよう注意してください。

⑦履修登録手続きの完了

誤りのない履修登録確認票に確認印を押して提出した時点で履修登録は完了となります。なお、履修登録に関して質問、相談がある場合には、教務担当教員または事務室までご相談ください。

⑧後期履修修正期間

履修登録手続き完了後、後期から開始する科目の履修登録を取り下げたい場合は、以下の期間に事務室で所定の手続きを行ってください。なお、後期に履修登録科目を追加することはできません。

- ・後期履修修正期間 10月2日（月）～4日（水）

2) 履修登録用紙の記入と提出

①履修登録用紙の記入

- ・コース選択制の科目については、調整・決定後、随時、結果を発表します。履修登録用紙への記入は、この決定にしたがって行ってください。
- ・履修登録用紙は、学年別になっています。
- ・履修登録用紙の記入方法は、ガイダンスの中で説明します。
- ・履修登録用紙の書き方で不明な点は、教務担当教員または事務室に問い合わせください。

②履修登録用紙の提出

- ・履修登録用紙は、各自が事務室の所定の場所に提出してください。
- ・履修登録期限

1年次開講科目・再履修科目	<u>4月12日（水）</u>
2年次開講科目	<u>4月25日（火）</u>
- 必ずこの期限までに履修登録用紙を提出してください。
- ・履修登録用紙を期限までに提出しないと、授業に出席しても単位を修得できませんので、十分注意をしてください。

(4) 履修科目の決定の仕方

基本的には「教育課程表」と「時間割表」をもとに、各自で履修科目を検討し決定していきますが、原則として「幼稚園教諭二種免許状」と「保育士資格」の両方を取得した上での卒業を目指しますので、その場合の履修科目の決定の仕方について、以下に説明をします。

< 1年生 >

①1年次開講の卒業必修科目の確認

卒業必修科目（次ページの表では「卒必」と表示されています）は、卒業するために必ず単位を修得しなければならない科目です。これらの科目の単位修得をしていないと、他の科目で62単位以上修得していても卒業は認められませんので必ず履修してください。

②幼稚園教諭免許状・保育士資格取得必修科目の確認

幼稚園教諭免許状取得必修科目（次ページの表では「幼必」と表示されています）、保育士資格取得必修科目（次ページの表では「保必」と表示されています）は、それぞれ幼稚園教諭免許状と保育士資格を取得するために必ず単位を修得しなければならない科目ですから、これらの科目も必ず履修してください。

教養基礎科目

授業科目	単位数	卒必	幼必	保必
日本国憲法	2		○	
メディア・コミュニケーション	2		○	○
オーラル・コミュニケーション I	2		○ ※7	○ ※7
体育（理論）	1		○	○
体育（実技）	1		○	○
教養基礎演習	1	○		
教養総合演習	1	○		
キャリアデザイン基礎	1			
キャリアデザイン I	1	○		

専門科目

授業科目	単位数	卒必	幼必	保必
教育原論	2		○	○
保育原論	2		○	○
発達心理学（講義） ※1	2		○	○
発達心理学（演習） ※2	1		○	○
カリキュラム論	2		○	○
乳児保育 I	1			○
乳児保育 II	1			○
障害児保育 I ※3	1			○
こどもの保健（講義） I ※4	2			○
こどもの保健（講義） II ※4	2			○
保育内容演習（言葉と表現）	2		○	○
保育内容演習（健康と人間関係）	2		○	○
保育内容演習（環境）	1		○	○
保育者論 I	1		○	○
教育実習（実習指導）	1		○	
教育実習（幼稚園 I） ※5	1		○	
保育実習指導 I ※6	2			○
保育実習 I（保育所） ※6	2			○
保育実習 I（施設） ※6	2			○
あそび基礎演習 I	2		○	○
あそび基礎演習 II	2		○	○
社会福祉	2			○
児童家庭福祉	2			○
社会的養護	2			○

※1 単位が修得出来ない場合「発達心理学（演習）」を履修することができません。

※2 「発達心理学（講義）」の単位を修得しなければ履修することはできません。

※3 単位が修得出来ない場合2年次に「障害児保育 II」を履修することができません。

※4 単位が修得出来ない場合2年次に「こどもの保健（演習）」を履修することができません。

※5 単位が修得出来ない場合2年次に「教育実習（幼稚園 II）」を履修することができません。

※6 単位が修得出来ない場合2年次に保育実習指導 II 及び III、保育実習 II 及び III を履修することができません。

※7 「オーラル・コミュニケーション I」は選択必修。詳細は別記。

■オーラル・コミュニケーションⅠの履修

「オーラル・コミュニケーションⅠ」は、2年次開講の「オーラル・コミュニケーションⅡ」と共に幼稚園教諭免許状・保育士資格取得のための選択必修科目（2単位以上修得）です。2年次に「オーラル・コミュニケーションⅡ」で2単位を修得することも可能ですが、その場合、単位修得ができないと、その年度に免許状・資格の取得ができなくなります。1年次に「オーラル・コミュニケーションⅠ」を履修するようにしてください。

③幼稚園教諭免許状取得選択必修科目の確認

「こどもと文化Ⅰ」「こどもと文化Ⅱ」「音楽表現演習Ⅰ」「音楽表現演習Ⅱ」は1年次開講の幼稚園教諭免許状取得選択必修科目です。これらの科目と、2年次開講のあそび実践演習各科目、音楽表現演習Ⅲ、Ⅳを合わせた11科目11単位の内から2科目2単位以上の単位を修得しなければ、卒業時に幼稚園教諭免許状を取得することはできません。

また、この4つの科目は選択必修科目ではありますが、保育の現場において必要となる技能を身につける科目であり、特にピアノは就職試験に多く取り入れられます。全ての科目を履修するようにしてください。

④その他の留意事項

- ・科目の履修時限：時間割表に学籍番号をもって授業の曜日、時限を指定されている科目については、同一科目が他の曜日、時限に開設されていても、指定された時限以外での受講は認められません。指定された曜日、時限で履修してください。
- ・「メディア・コミュニケーション」：特別なスケジュールで授業が行われます。授業中に配布される日程表及び学事日程を確認の上、受講してください。
- ・「オーラル・コミュニケーションⅠ」：英語と中国語の選択が可能です。希望に沿えない場合があります。また、授業時間は指定されます。
- ・「音楽表現演習Ⅰ」・「音楽表現演習Ⅱ」：ピアノとギターの選択が可能です。授業時間と担当教員は指定されます。
- ・「キャリアデザイン基礎」：必修科目ではありませんが、社会人として必要なルールやマナーについて考え、自己理解を深める授業です。積極的に履修をしてください。

< 2年生 >

①1年次での単位修得科目の確認

はじめに、1年次で単位を修得できた科目について確認をしておいてください。

なお、修得できなかった科目があり、卒業ならびに免許状・資格の両方の取得を希望される方は、同一科目の再履修をすることになります。再履修の必要な科目がある場合は履修相談を受けた上、履修登録をしてください。不明な点があれば、教務担当教員また

は事務室まで問い合わせてください。

② 2 年次開講の卒業必修科目の履修

2 年次開講科目のうち、卒業必修科目は「現代社会論」「キャリアデザインⅡ」「専門総合演習」「卒業演習」です。これらの科目は必ず履修してください。

■現代社会論の履修

この科目は<総論>と<各論>の2つから構成されています。履修登録にあたっては<各論>を一つ選択してください。(コース選択は、<総論>の展開の中で行います)

今年度の各論は以下の8コースが通年で開設されます。

テーマ	担当
現代社会の中の犯罪－同じ社会に生きる者として	金子
芸術を教育・福祉へ	明石
短大生のワイドショー	佐藤
消費生活と手仕事	加藤
子ども家庭福祉	小木曾
サウンドスケープ	よしなか
現代社会と関係する方法	渡辺
「まちあるき」から社会を考える	鷲野

■専門総合演習、卒業演習の履修

「専門総合演習」が前期に、「卒業演習」が後期に、それぞれ12コース開設されます。

履修登録にあたっては、「専門総合演習」と「卒業演習」が同一の教員になるように選択してください。

《前期：専門総合演習》

テーマ	担当
あそびと保育者の援助について考える I	由田
子どもと芸術 I	明石
ようこそ言葉の森へ	深谷
家族理解のためのアセスメント・基本編	佐藤
子育て育ち支援～地域・保護者・子ども・学生それぞれの“育ちあい”を考える～I	石井
保育原理実践演習	小久保
子どもの表現を探る－音楽的な視点から－	古山
保育における身体表現活動の探求 I	田中
うたとお話の広場を通して『表現』について考える	池谷
保育者の社会的役割と保育者となる“私”の在り様を考える I	伊藤
「育つ」ということについて考える I	大村
多様な背景をもつ外国人 I	鶴田

《後期：卒業演習》

テーマ	担当
あそびと保育者の援助について考えるⅡ	由田
子どもと芸術Ⅱ	明石
保育記録を読み、保育記録を書く	深谷
家族理解のためのアセスメント・応用編	佐藤
子育て子育て支援～地域・保護者・子ども・学生それぞれの“育ちあい”を考える～Ⅱ	石井
保育課程・教育課程論実践演習	小久保
音楽表現活動を通して、自らの保育観・表現観をかたちづくる	古山
保育における身体表現活動の探求Ⅱ	田中
子育て支援における『表現遊び』を考える	池谷
保育者の社会的役割と保育者となる“私”の在り様を考えるⅡ	伊藤
「育つ」ということについて考えるⅡ	大村
多様な背景をもつ外国人Ⅱ	鶴田

③幼稚園教諭免許状・保育士資格取得必修科目の履修

■あそび技能演習の履修

今年度は以下の6コースが前期に開設されます。

テーマ	担当
手作り保育教材製作	深谷
つくって、あそんで、考える	池谷
言葉とお話であそぼう	高森
体を育てるあそび	益子
お話を楽しもう	山田
音楽表現遊びの援助のあり方（実習指導案）	阿部

■その他の科目の履修

幼稚園教諭免許状ならびに保育士資格の2つを取得する場合には、以下の科目を履修する必要があります。

開講期	科目名	担当教員
前期	保育内容総論	石井
前期	障害児保育Ⅱ ※1	大村
前期	こどもの保健（演習） ※2	有馬
前期	こどもの食と栄養Ⅰ	島本
後期	こどもの食と栄養Ⅱ	島本
後期	保育相談支援	高橋
前期	保育方法論Ⅰ	由田・伊藤
後期	保育方法論Ⅱ	由田
後期	保育者論Ⅱ ※3	由田
後期	こども臨床学	大村
後期	保育・教職実践演習（幼稚園）	由田・石井・池谷・加藤
前期	家庭支援論	佐藤・石井・水鳥川
前期	社会的養護内容	加藤
後期	相談援助	佐藤

※1 「障害児保育Ⅰ」の単位を修得していなければ履修できません。

※2 「こどもの保健Ⅰ・Ⅱ」の単位を修得していなければ履修できません。

※3 「保育者論Ⅰ」の単位を修得していなければ履修できません。

■実習関連科目の履修

取得を希望する免許状・資格にあわせて、それぞれ必要な実習関連科目を履修する必要があります。

免許状/資格	科目名	担当教員
幼稚園教諭免許状	教育実習（実習指導）	由田・伊藤・大村
	教育実習（幼稚園Ⅱ） ※4	
保育士資格	保育実習指導Ⅱ・保育実習Ⅱ ※5	石井・小久保
	保育実習指導Ⅲ・保育実習Ⅲ ※5	佐藤・石井・加藤

※4「教育実習（幼稚園Ⅰ）」の単位を修得していなければ履修できません。

※5「保育実習指導Ⅰ」「保育実習Ⅰ（保育所）」「保育実習Ⅰ（施設）」の単位を修得していなければ履修できません。

④選択科目の履修

以上の諸科目を履修し、単位を修得することができれば、卒業要件を満たし、かつ幼稚園教諭免許状と保育士資格を取得することができます。

しかし本学では、社会人としての素養や保育者としての資質を高め、視野を広げるために、以下の選択科目を開講しています。意義ある学修体験の機会として、できる限り履修し、大いに活用してください。

■教養基礎科目：フィールドワーク（わくわく体験研修）の履修

今年度は10コース開設されます。体験研修旅行の期間は、基本的に9月中旬となっておりますが、この他に通常授業期間を利用しての事前準備ならびに事後学習が随時組み込まれます。

科目名	テーマ	担当
フィールドワーク （人間と文化）	スペインの文化に触れて	明石・田中
	舞台芸術への招待	古山
	昔話が息づく町・遠野	高森
フィールドワーク （生活と社会）	東北スタディツアー	金子
	生活と文化を考える～富山県利賀村研修	由田
	地域の保護者と協働する体験を通して、子どもの育ちや子育てについて考える	石井
	世界の最貧国 カンボジアの子どもたち	伊藤
フィールドワーク （自然と環境）	お話ライブをしよう	高森
	富士山の頂から観る～登山と自然、自分自身を考える～ Sense of Wonder in Nepal	石井 福中・鶴田

※なお、上記のうち同一科目の複数コースを履修することはできません。また、複数科目を履修する際は各コースの事前ガイダンスにおいて、日程の重複が無いことを確認してください。

■教養基礎科目の履修

教養基礎科目については、上記フィールドワーク（わくわく体験研修）の他、「オーラル・コミュニケーションⅡ」と「キャリアデザインⅢ」が開講されています。1年次の学びをふまえ、より深い素養を培う機会となるでしょう。

■表現技術系科目の履修

専門科目のうち、下記の表にある「あそび実践演習（こどもと音楽）」「あそび実践演習（こどもと造形）」「あそび実践演習（こどもと運動）」「あそび実践演習（こどもと言葉）」ならびに「音楽表現演習Ⅲ・Ⅳ」は幼稚園教諭免許状・保育士資格取得のための選択科目となっています。なお、今年度は「あそび実践演習（こどもと自然）」は開講しません。

開講期	科目名	担当
後期	あそび実践演習（こどもと音楽）	古山
後期	あそび実践演習（こどもと造形）	深谷
後期	あそび実践演習（こどもと運動）	田中
後期	あそび実践演習（こどもと言葉）	高森
前期	音楽表現演習Ⅲ	明石・古山・木村・曾我・井出・福中・阿部
後期	音楽表現演習Ⅳ	明石・古山・阿部

4. 教育課程

- ①教育課程は、以下の表2・表3の通りです。
- ②入学年度の教育課程が卒業まで適用されます。
- ③表1「卒業」は卒業資格を取得するための最低単位数です。
- ④表1「幼免取得」は幼稚園教諭二種免許状のみを取得する場合、「保育士取得」は保育士資格のみを取得する場合の最低単位数です。
- ⑤表1「幼免・保育士取得」は、幼稚園教諭二種免許状と保育士資格をあわせて取得する場合の最低単位数です。なお、両者に重複する場合は「保必」にカウントしています。

表1 必要単位数

	卒業	幼免取得	保育士取得	幼免・保育士取得
卒業必修	12	12	12	12
選択科目	50 表2・表3より	44 (幼必) 6 表2・表3より	66 (保必)	66 (保必) 9 (幼必)
	62	62	78	87

表2 教育課程表(教養基礎科目)

授業科目	単位数	卒必	幼必	保必	保選	区分	開講年次
①基礎科目系							
日本国憲法	2		○		○	講義	1年
メディア・コミュニケーション	2		○	○		講義	1年
オーラル・コミュニケーションⅠ	2		選択必修 2単位以上	選択必修 2単位以上		演習	1年
オーラル・コミュニケーションⅡ	2					演習	2年
体育(理論)	1		○	○		講義	1年
体育(実技)	1		○	○		実技	1年
小計	10	0	8	6	2		
②教養総合科目系							
教養基礎演習	1	○				演習	1年
教養総合演習	1	○				演習	1年
フィールドワーク(人間と文化)	2				○	演習	2年
フィールドワーク(生活と社会)	2				○	演習	2年
フィールドワーク(自然と環境)	2				○	演習	2年
現代社会論	4	○				演習	2年
キャリアデザイン基礎	1				○	講義	1年
キャリアデザインⅠ	1	○				講義	1年
キャリアデザインⅡ	1	○				講義	2年
キャリアデザインⅢ	1				○	講義	2年
小計	16	8	0	0	8		
教養基礎科目計	26	8	8	6	10		

表3 教育課程表（専門科目）

授業科目	単位数	卒必	幼必	保必	保選	区分	開講年次
①教育・保育／理論系							
教育原論	2		○	○		講義	1年
保育原論	2		○	○		講義	1年
発達心理学（講義）	2		○	○		講義	1年
発達心理学（演習）	1		○	○		演習	1年
カリキュラム論	2		○	○		講義	1年
保育内容総論	1		○	○		演習	2年
乳児保育Ⅰ	1			○		演習	1年
乳児保育Ⅱ	1			○		演習	1年
障害児保育Ⅰ	1			○		演習	1年
障害児保育Ⅱ	1			○		演習	2年
こどもの保健（講義）Ⅰ	2			○		講義	1年
こどもの保健（講義）Ⅱ	2			○		講義	1年
こどもの保健（演習）	1			○		演習	2年
こどもの食と栄養Ⅰ	1			○		演習	2年
こどもの食と栄養Ⅱ	1			○		演習	2年
保育相談支援	1			○		演習	2年
小計	22	0	10	22	0		
②教育・保育／実践系							
保育内容演習（言葉と表現）	2		○	○		演習	1年
保育内容演習（健康と人間関係）	2		○	○		演習	1年
保育内容演習（環境）	1		○	○		演習	1年
保育方法論Ⅰ	1		○	○		講義	2年
保育方法論Ⅱ	1		○	○		講義	2年
保育者論Ⅰ	1		○	○		講義	1年
保育者論Ⅱ	1		○	○		講義	2年
こども臨床学	2		○	○		講義	2年
保育・教職実践演習（幼稚園）	2		○	○		演習	2年
小計	13	0	13	13	0		
③教育・保育／実習系							
教育実習（実習指導）	1		○			演習	1・2年
教育実習（幼稚園Ⅰ）	1		○			実習	1年
教育実習（幼稚園Ⅱ）	3		○			実習	2年
保育実習指導Ⅰ	2			○		演習	1年
保育実習Ⅰ（保育所）	2			○		実習	1年
保育実習Ⅰ（施設）	2			○		実習	1年
保育実習指導Ⅱ	1				選択必修	演習	2年
保育実習指導Ⅲ	1				1単位以上	演習	2年
保育実習Ⅱ	2				選択必修	実習	2年
保育実習Ⅲ	2				2単位以上	実習	2年
小計	17	0	5	9	0		
④表現技術系							
あそび基礎演習Ⅰ	2		○	○		演習	1年
あそび基礎演習Ⅱ	2		○	○		演習	1年
あそび技能演習	2		○	○		演習	2年
あそび実践演習（こどもと音楽）	1				○	演習	2年
あそび実践演習（こどもと造形）	1				○	演習	2年
あそび実践演習（こどもと運動）	1				○	演習	2年
あそび実践演習（こどもと言葉）	1				○	演習	2年
あそび実践演習（こどもと自然）	1				○	演習	2年
こどもと文化Ⅰ	1					演習	1年
こどもと文化Ⅱ	1					演習	1年
音楽表現演習Ⅰ	1				○	演習	1年
音楽表現演習Ⅱ	1				○	演習	1年
音楽表現演習Ⅲ	1				○	演習	2年
音楽表現演習Ⅳ	1				○	演習	2年
小計	17	0	8	6	10		
⑤福祉系							
社会福祉	2			○		講義	1年
児童家庭福祉	2			○		講義	1年
家庭支援論	2			○		講義	2年
社会的養護	2			○		講義	1年
社会的養護内容	1			○		演習	2年
相談援助	1			○		演習	2年
小計	10	0	0	10	0		
⑥専門総合科目系							
専門総合演習	2	○				演習	2年
卒業演習	2	○				演習	2年
小計	4	4	0	0	0		
専門科目計	83	4	36	60	10		
合計	109	12	44	66	20		

※保育実習Ⅱを履修する場合保育実習指導Ⅱを、保育実習Ⅲを履修する場合保育実習指導Ⅲを履修すること。